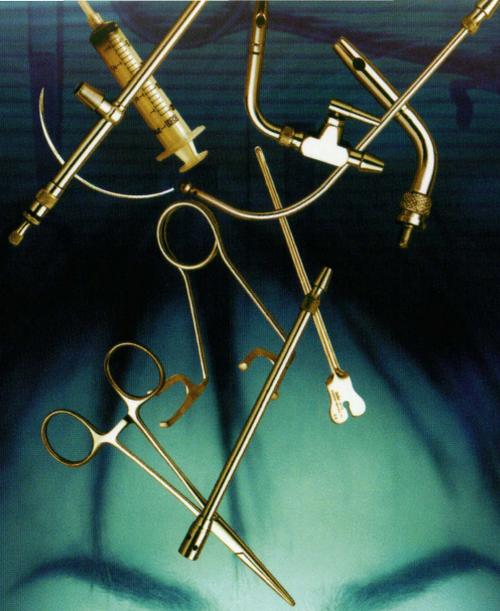


モドシテクダサイ。



EMT

エ ン バ ー ミ ン グ

高 島 礼 子 松 重 豊 鈴 木 清 順 小 林 ひとみ 本 郷 功 次 郎 柴 俊 夫

監督・脚本・編集・音楽：青 山 真 治

原作：雨宮早希「EM/エンバミング」(幻冬舎文庫刊) 製作：田中和彦 企画：坂井洋一 プロデューサー：竹本克明(小林 悟) 脚本：橋本以蔵 音楽：山田麿生 撮影：西久保維宏

照明：赤津淳一 美術：塩田 仁 録音：湯脇勇雄 編集：上野聡一 助監督：七字幸久 製作担当：岩本 勲 製作：GAGA(株)ギャガ・コミュニケーションズ 制作：小椋事務所 ©1999 GAGA communications

R-15

青山真治監督作品『EM／エンバーミング』

旬な女優・高島礼子扮する村上美弥子の
ヒロイン像に尽きる。

人間性が死んだといわれる現代、

彼女は人間の【死体＝物体】処理から、

人間の哀しさ、醜さ、惨めさを直視していく。

死からなんとか生を見つめようとするクールな彼女は、

世紀末に相応しい孤高のヒロインかもしれない。

映画文筆家 鷺巣義明

エンバーマーに高島礼子！

冷静沈着なエンバーマーでありながら、トラウマを抱えた不完全な人間でもある村上美弥子を演じるのは、今が旬の高島礼子。『陽炎』シリーズや『極道の妻たち』などのこれまでの妖艶路線とは異なり、クールでシャープな新しいヒロイン像を作り上げ、女優としての幅を広げることに成功している。

美弥子と組んで事件の捜査を進める平岡刑事役は、個性派俳優の松重豊。『アドレナリンドライブ』や『カリスマ』など、作品に奥行きを作り出せる希有な人材だ。そして『ラブ&ポップ』の三輪ひとみ、『がんばっていきまっしょい』の松尾政寿と、難しい役どころに果敢に挑戦する若手俳優を、鈴木清順、本郷功次郎、柴俊夫らのベテラン勢が脇でガッチリと支えている。

エンバーミングとは……。

傷ついた遺体に消毒・修復を施し、生前のままに保存する技術……エンバーミング。そのエンバーミングが世界的な注目を集めたのは南北戦争においてであった。兵士たちの遺体を遠く離れた故郷へ搬送するために利用せられ、その後、時には権力者の威光を後世に伝えるため、時には絶世の美女の美貌を残すためアメリカ中で、エンバーミングが行われた。現在、北米大陸での普及率は既に90%を超え、100年でも生前の面影を保つほどの技術革新がなされている。

だが本来、それは旅立つ者との別れに対する遺族の愛情をこめた演出なのである。死と向き合い、死者の尊厳を守るエンバーミング技術者-彼らはエンバーマーと呼ばれる。この題材をもとに故松田優作の元妻である松田美智子が、『雨宮早希』のペンネームで執筆したベストセラー小説がこの映画の原作である『EM/エンバーミング』(幻冬舎文庫刊)である。

青山真治監督が「サイコ・サスペンス」に挑戦！

青山作品6本目にあたる最新作、『EM/エンバーミング』が遂に完成！前作『シェイディー・グローヴ』の完成直後から準備に入り、初めての原作小説(雨宮早希)の映画化、初めてのプロの脚本家(橋本以蔵)との共同作業と、今までの作品づくりにはなかったアプローチを試み、『サイコ・サスペンス』に初挑戦。作家性溢れる<青山ワールド>の中で、異色の娯楽エンタテインメントムービーが誕生した。



STORY

今日も刑事・平岡(松重 豊)の電話で仕事に向かう村上美弥子(高島礼子)。彼女はEM(エンバーミング)センターに勤めるエンバーマーだ。平岡『**進藤由樹、17歳、覚悟の自殺か事故か、他殺の線はない**』ビルの屋上から落ちた由樹(松尾政寿)の遺体をEMセンターでエンバーミングを施す美弥子。他殺の線はないと思われたが、由樹の体の中から1本の針が検出される。さらに霊安室に置かれていた由樹の遺体から頭部が切断され、紛失した。一体誰が何の目的で……。エンバーマー久留米清一(鈴木清順)から「遺体売買組織」の存在を知らされる美弥子と平岡。そしてドクター・フジ(柴俊夫)という凄腕のエンバーマーがいるということ。フジ『**死の匂いだ。……あんたもエンバーマーか**』「組織」に乗り込みドクター・フジと対面した美弥子は、そこでフジから由樹は殺され、しかも相手は“ガキの女”だと告げられる。さらに由樹そっくりの男・大里邦昭(松尾政寿/二役)と由樹の彼女だった篠原里香(三輪ひとみ)との関係が浮かび上がってくる。平岡『**アユミ？篠原里香じゃないのか**』平岡の捜査で、里香は「多重人格者」で少なくとも4つの人格(里香、アユミ、クニコ、テツヤ)が存在していることがわかった。さらに由樹と邦昭は、双子の兄弟ということが判明する。美弥子『**あるいはフジが私の父親かもね**』美弥子はフジと再会し、彼が米軍の従軍医師としてベトナムへ行って、それきり行方不明になった自分の父親ではないかと思いはじめていた。さらに由樹と里香が通院していた精神科の病院のオーナーで、信者10万人を束ねる大徳院慈恩総帥(本郷功次郎)が、“針”で精神障害を治す人体実験をやっていたことを知る。これは一時的に全身の筋肉組織を停止させ、パソコンのように、人間の精神もリセットできるかという実験だった。はたして由樹を殺し、頭部を持ち出したのは里香なのか？ 一体それはなんのために……。美弥子『**永遠などない……。だから私はエンバーミングを続ける。**』

1999年/カラー/96分/35ミリ/ヴィスタサイズ 製作:GAGA(株)ギャガ・コミュニケーションズ 制作:小根事務所 配給:ピタース・エンド ©1999 GAGA communications

7月31日 | 土 | よりレイトロードショー

初日舞台挨拶あり——出席者:高島礼子、青山真治監督 他(予定)お時間は劇場へお問い合わせ下さい。

特別鑑賞券¥1500絶賛発売中【当日:一般¥1800/学生¥1500のところ】

劇場窓口(ポストカードつき)、都内プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾンにて

新宿ジョイシネマ

新宿コマ劇場前広場 tel 03-3209-6180

夜9:15より1回上映(日曜休映)